

幼稚園と保育所の一体化、どう考える

小池 啓 男

児童福祉法に規定している立場だ



になる。児童福祉法24条でいわれている市町村の「保育の義務」が無くなることになる。どう考えるか。
「村長」児童福祉法に規定している立場だ。

（質問）厚労省は「子ども手当」から給食費、保育料教材費などを天引き出来るとしている。

法案の趣旨には「この法律は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために」とある。行政が、天引きする立場に立つべきではない。

給食費などの滞納の原因の一つに「貧困」という深刻な社会の現実がある。

「村長」天引きすることが子どもの健やかな育ちを阻害するかどうか、それは考え方の問題だ。周辺市町の動きも見て決めていく。

（質問）政府は「幼稚園と保育園の一体化」を進めようとしている。
親は「子ども園」と直接契約し、市町村は、契約の利料の一部を補助するだけ

（質問）八ヶ岳美術館のブロンズについて、村の決算書（昭和52年から57年）では1千837万5千円の製造費がある。内訳を聞きたい。
「村長」資料で提出したと



（質問）村民のどれ位の人が、インターネットを利用して、村のHPから行政情報等を得ていると推測するか。
「村長」村では把握できて

おりだ。読めばわかるので説明はない。

資料によれば、村は当時20点の鑄造を行っている。これに関し、私は以下の見解をのべました。私は昨年8月発行の議会だより102号において「ブロンズ鑄造の費用は村が出している」と書いていますが、これは不正確な記述です。正確には、ブロンズ像は清水多嘉示氏の寄贈が多く、全てを村が鑄造したわけではありません。誤解を招く記述をしたことに関係者にお詫びします。

広報企画委員会設置の考えは

五味 武雄

設置を考えたい

いない。インターネット人口普及率は、長野県では平成18年に55.3%である。村のLCVネットの契約数は、本年1月末時点で、加入世帯は1千242で加入率は42%である。

村のHPへのアクセス件数は、同時点で、月平均1万4千648件である。

（質問）サラダチャンネルの接続率を、40%台後半と聞いているが、現状は。

「課長」平成21年度では、世帯数が2千850。加入世帯が1千396。これを割り返すと49%となる。

（質問）現状では、「広報はら」による広報活動がメインとならざるを得ない。

辰野町の「広報たつの」は、平成22年、県の町村広

報コンクールで優秀賞を受賞した。さらに、より良い意見・提言を広報活動に活かすべく公募による「広報企画委員会」を立上げ、活動を開始している。

そこで、村の広報活動全体を考え、公募による「広報企画委員会」を設置する考えはないか。

「村長」新年度より「広報はら」の業務は、村づくり戦略室に移管する。新年度から考えていきたい。

（質問）今後5年間の役職員体制は。臨時・嘱託職員の正職員化は。

「村長」行政改革プログラムの数値目標を修正し、適正かつ柔軟な職員体制にする。

農業、商工業等景気実態と振興策は

小平 雅彦

厳しい状況、支援事業を進める



の1年延長、商工業活性化補助金により設備投資等に対して補助を行う。振興策を総合的に進めていく。

〔質問〕景気、雇用は不透明感を増している。農業、商工業等景気実態は。

また、支援策と次年度予算、事業内容は。

〔村長〕昨年12月「企業経営実態調査」を実施した。

回答においても、収益減少が6割を超え厳しい状況にある。農業も厳しい状況が続いている。

農業に対する支援策は、農業後継者育成事業、戦略作物生産拡大基盤整備事業、野菜・花卉作期拡大事業、安値対策等の事業を行う。

商工業に関しては、中小企業特別経営安定資金制度

〔質問〕小中学校における不登校の実態と対策について。

〔教育長〕不登校は全国的な広がりを見せ、特に中学に行くとは急増加している。

原因は複雑な要素が考えられるが、地域をあげた対策が必要で、中学校での少人数学級の実施（村費教員の配置）、魅力ある学校づくり、心の相談員の増員、教育、福祉関係機関の連携、幼小中の連携を深めて行く。

〔質問〕「不法投棄の防止等に関する条例」が施行されるが具体的対策は。

学校新指導要領での授業は

木下 貞彦

時間が増加する



〔村長〕美しい原村のイメージを高めたい。村内各所に啓発看板を設置し周知する。健康づくりごみひろいウォーキングを計画したい。

〔質問〕①小中学校の教科書選定はどのように行われているか。②食の安全、食育と原村農業の取り組みは。③中学校駐車場の除雪について。

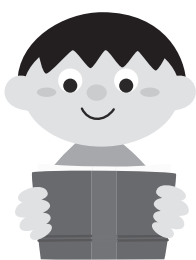
〔教育長〕①文部科学省の検定調査審議会を通じた教科書は県教育委員会、諏訪地区の審議会（学識経験者、校長、教育長、教育委員長、各教科の委員長、PTA、等）で選定され、地区にあった内容の教科書が選ばれている。

②乳幼児期、保育園児、小学生、中学生までの食育プログラムがある。小学五年生は米作りをして収穫祭をしている。中学一年生が農業体験実習をしている。またセロリの丸かじりもある。食材の会の方々が原村産の野菜を供給している。ソバ打ち体験もしている。情操教育や知育の面でも大事にしていきたい。学校給食は安全に配慮して作られている。

〔村長〕③借地であるため、地主さんとの話し合いで現状しかない。

〔質問〕①本村の財政はどのような状況にあると認識しているか。②お金の管理はどのようになっているか。

〔村長〕①財政力指数など色々な指数があるが、人口規模がほぼ同じ類似団体の中でも結構いいところにいる。経常収支比率を見ても財政硬直化は進んでいない。基金を取り崩さない、予算編成を目的にしている。現在の財政運営でいく限り、福祉政策は継続できる。②金利を得るための国債等を購入している。絶対安全というものはないので、各方面より情報を集め、なるべく金利の高い定期預金の運用を基本に考えたい。



縦の湯第2駐車場の整備を

菊池敏郎

真摯に対応する



り、真摯に対応する。

（質問）村長が広報「はら」で批判した「新自由主義」と、地域主権のために「住民自ら」の行動を求めたが、どのように受け止めているのか。

これは自公政権から民主党政権に引き継がれた。1990年代に小泉竹中ライオンにより「構造改革」の掛け声で始まった新自由主義の経済政策は、国民生活と地方自治体を直撃した。

地方政治も変わり「税のフラット化」と言われ、住民に増税が押し付けられた。高齢者差別医療制度も導入された。

個人には「自己責任論」が押し付けられ、非正規雇用の拡大につながった。

また民主党は「地方主権」の名のもとに、地方自治体に大きな負担が押し付けてきた。保育所の基準撤廃はその典型である。

「官から民へ」の号令で、学校や保育園の給食の民間委託が行われ地方自治体が、その役割を果たさなくなっ

（質問）縦の湯は非常に好評である。しかし第2駐車場は砂利のままです。入り口に水たまりができる。整備すべきである。

「村長」春先や梅雨時など入り口に輪打ちができる。

砂利を入れてきたが不十分である。舗装をするにも高さを考えることが必要であ



23年度予算の歳出が増加している。

日達徳吉

（質問）23年度予算に、「戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業」として、水路、湧水処理を計画しているがどのように行うか。

「村長」21年度に「農地有効利用」で行う予定だった。

ってきた。

「自助、共助、公助」と「自己責任論」についてどのように考えるか

「村長」新自由主義がいいとは思わないが、自治体は対応せざるを得ないので、ある部分は従い、ある部分は反旗を翻している。

（その他の質問事項）

○PPP反対
○協力し合える職員関係について

やり残しがあったが、22年度は補助事業がなくなった。新年度事業として取組む事にした。

（質問）事業の申込みは受け付けるか。受益者の負担金はいくらか。

「村長」各区で21年にやり残した分に対応する。新たな募集はしない。

「課長」受益者負担金は、事業費の16.7%になる。

（質問）年々予算が増加しているが、問題はないか。

「村長」住民生活を考え、福祉、教育や文化、産業の充実が必要。財政運営も長期的見通しを持ち、起債を起さず、基金にも手をつけるのを少なくしていくので問題はない。

（質問）庁内組織改編の内容はどうなっているか。

問題はない

「村長」総務課長が兼務していた村づくり戦略推進室を専任とし、総務課の広報部門を同室に、同室の企画係を総務課に移す。村づくり係は、村の重要政策の企画・立案・総合調整や広域行政の業務を行う。企画係は総務課に移す。

（質問）今年は校庭リンクでスケートが出来たが最近暖冬で氷が張らず、冬子供達又村民が体を動かす機会が少ないので雪にふれる雪合戦を行っている。現在一人千円の負担をしてもらっているのが、高校生以下は半額にしたいので、村の支援はできないか。

「村長」冬季のスポートとして推進して行きたいので検討して行く。

「原村奨学金」大学生まで拡大すべき

長谷川 寛

そのような奨学金があってもいい



〔質問〕教育でお金がかか
るのは大学進学時。

奨学金であれば、生きた
お金の使い方ができるので
はないか。

原村奨学金の対象者を、
大学進学者、専門学校生に
まで拡大すべきと考えるが
どうか。

〔村長〕日本育英会を中心
とした奨学金があるが、村
にそういう奨学金があつて
もいい。教育委員会で審議
してもらいたい。

(11)

第105号 はらむら議会だより

〔質問〕リビングゾーンの
良好な居住環境の整備のた
めに、商店、工場、集合住

〔質問〕近隣の手本となる
べく、ゼロウェイストへ近
づくためにも、常時回収施
設の設置を、本気で検討す

〔その他の質問事項〕
○精神性疾患に対する専門
家や保健師のサポート体制
は。

中央高原で進めてきた事業の評価は 矢島昌彦 ある程度達成できた



〔質問〕昭和40年代、中央
高原開発を手掛け、原村観
光や人口増の基礎ができた。

再生会議を立ち上げ村民
の声も取り込み、5年間の
長期計画で八ヶ岳美術館・
自然文化園など観光施設の
整備したが成果と評価は。

またやり残した事はどう
するか。

〔村長〕再生のもくろみは
観光、文化の拠点施設の自
然文化園、八ヶ岳美術館に
交流の場、体験の場の整備
遊歩道を整備し拠点施設を
有機的に結び、観光客に自
然とふれあい、景観を楽し
みながら周遊。これらで地
域の活性化を図ること。

課題の達成状況は自然文
化園は利用者が増加、各種
イベントや活動が活発化し
た。美術館は利便性や芸術
的価値は向上したが利用者
はふえていない。

未解決課題として観光地
入込み客や観光消費額が目
標未達成で、村の活性化と
までは至っていない。

5年間という長い事業期
間は景気の変動もあり、あ
る程度のもくろみは達成で
きた。やり残した課題は今
後も予算をつけてやってい
く。

〔質問〕自然文化園の湿性
花園を再生すべきでは。

〔村長〕村の予算を付けて
文化園に委託し、造園的に
手を入れない。植物の種を
増やし、整備したい。

〔質問〕観光業には路線バ
スは大切な交通機関である。

諏訪バスが茅野駅から美
濃戸まで運行しているがペ
ンション経由にならないか。
〔村長〕村でも諏訪バスに
ペンション経由を要請した
ができないという回答。

4月29日から実践大学校
に停まる便を受け、土日、
祝日にペンション、四季の
森、美術館等経由の実証運
行をする。

議長あいさつ

16期をふり返って

小池和男

原村議会第16期の任期満了にあたり、4年間を回顧します。

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」、12日の「長野県北部地震」では、想像を絶するような甚大な被害を被りました。被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

平成19年の選挙で、定数2名減員の11名が無投票で選ばれました。女性議員がおらず、生活の一躍を担う目線が少なかったように感

じました。

一方、特別委員会の開催、「議会報告・懇談会」で住民の声を村政に反映すべく村内を一巡しました。

また、本会議では時間延長を行う等、活発な議会活動が評価され、全国町村議長会より表彰を受けました。これは一重に歴代議会の方々のおかげと感謝いたします。

昨年11月の臨時議会は、議会側の請求により開催され、「TPP（環太平洋戦

略的経済連携協定）への参加を止めること」との意見書を議決しました。

国政は世の中の流れを受けて政権交代、地方分権の時代へと進みましたが、いまだに道筋は定まらず地方自治は混乱しています。

23年度予算には、中学校大規模改修が盛り込まれています。16期はこの予算議会です。最後にあります。

これからの議会は、更なる住民の声を聞き安心して暮らせる社会を目指し、議

木下貞彦

3月11日に、原村でも震度4の揺れ、東北地方太平洋沖地震、マグニチュード9.0が起きました。悲惨な情景がテレビに映し出され多くの皆さんが心を痛めたことと思います。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、全国では減っている人口も、原村ではこの4年間、7650人から7910人へと約260人増えました。

議会は、11人の議員で審

議してきました。議案は、毎回のよう修正があり、時には再提出や撤回がありました。昨年12月に全会一致での指定管理者の指定の議案が否決されました。

また、住民へ議会報告を行い、村民との話し合いを通じ、皆が望む村づくりを目的に住民懇談会を開催しました。第1回の南原区を皮切りにお陰様で原村を一巡できました。

また、「八ヶ岳自然文化園」「小学校給食棟に関する調査」特別委員会を設置し、提言しました。

議会は、先輩たちの御尽力で100号を迎えることができました。公共施設の耐震補強工事が済み、安心して利用できるようになりました。着年から15年を経てエコラインが開通、村の風景を一変した圍場事業の完了、保育所未満児棟、小学校学童クラブの竣工等観光に、農業に、そして子育てに期待できます。

小学校の改修が完了し、

中学校の改修も軌道に乗りました。

公共交通の試行運転も始まりました。

合併という風が去り、新たな自治の取り組みも必要でしょう。幸せと感動を感じる村でありたいものです。

この議会が無事任期を終えるにあたり、村民お一人お一人に深く感謝を申し上げます。挨拶といたします。

会活動をしていただきたくお願いいたします。

議員各位のご協力の下、2年間議長を務めることができましたことを心からお礼申し上げます。

組合議会等報告

諏訪広域連合

3月定例会が24・25日開催された。承認1件、議案9件を全会一致で可決した。

◎東北関東大震災における諏訪広域消防の緊急援助隊は3月11日の第1次より第8次まで出動。第9次以降については、その予算対応の説明があった。原消防でも3人が参加。

◎小児夜間急病センター患者数減少により500万円の委託料補正を承認。

◎恋月荘に於いては、正規入所者80名、短期入所者10名であり、平均年齢は87歳である。入れ替えはここ5年間では年平均20名である。スプリングラーの設置工事を予定している。

◎八ヶ岳寮に於いては、38歳から92歳まで134名が入所している。平均年齢は64.7歳

である。スプリングラーの設置工事を予定している。

◎ふるさと基金事業では、地震速報告知端末機使用料、婚活事業、スポーツ振興などである。

南諏衛生施設組合

今年度補正予算と新年度予算が、全会一致で可決された。

議会開会前に議長提案で、「東日本大震災」の犠牲者に黙とうをささげた。

管理者召集のあいさつで「諏訪南行政組合（ごみ焼却場を管理）」と平成16年に、灰溶融炉用地として無償貸与の契約を結んだが、この3月末を持って解除する」と報告があった。

新年度事業計画として、生し尿が5%位減り、浄化槽汚泥は、横ばいとみている。

粗大ごみ処理では、大きな変化はないとみていた。埋め立て処分場は、ごみ焼却場分が入らないため、年間250トン程度とみていた。このままで推移すると40年程度でいっぱいとなる。

新年度予算では、鉄くず等の値上がりで前年度に比較し、2倍程度の売上を見込んでいる。

表彰状

長野県原村議会殿

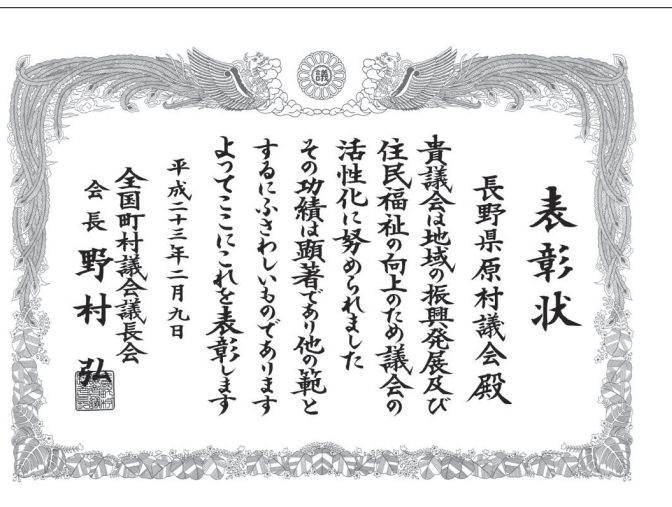
貴議会は地域の振興発展及び住民福祉の向上のため議会の活性化に努められました

その功績は顕著であり他の範とするにふさわしいものであります
よってここにこれを表彰します

平成二十三年二月九日

全国町村議会議長会

会長 野村 弘



全国町村議会議長会表彰

粗大ごみ施設の修繕費は、を見込んでいる。

借入金の返済がなくなり、経費負担は、人口割のみとなった。原村負担は33・64%で、5千401万9千円である。

し尿処理施設では、毎年膜分離装置のチューブ膜の交換、洗浄フィルター交換などが予定されている。全体として燃料費の増額

平成23年度諏訪広域連合予算 (単位：千円)

会 計 名		予 算 額	原村負担金
一 般 会 計		178,980	8,912
特 別 会 計	養護老人ホーム恋月荘	398,614	0
	救護施設八ヶ岳寮	456,168	3,696
	介護保険	14,666,606	81,597
	諏訪広域消防	2,047,756	124,780
ふるさと市町村圏基金事業		10,511	0

